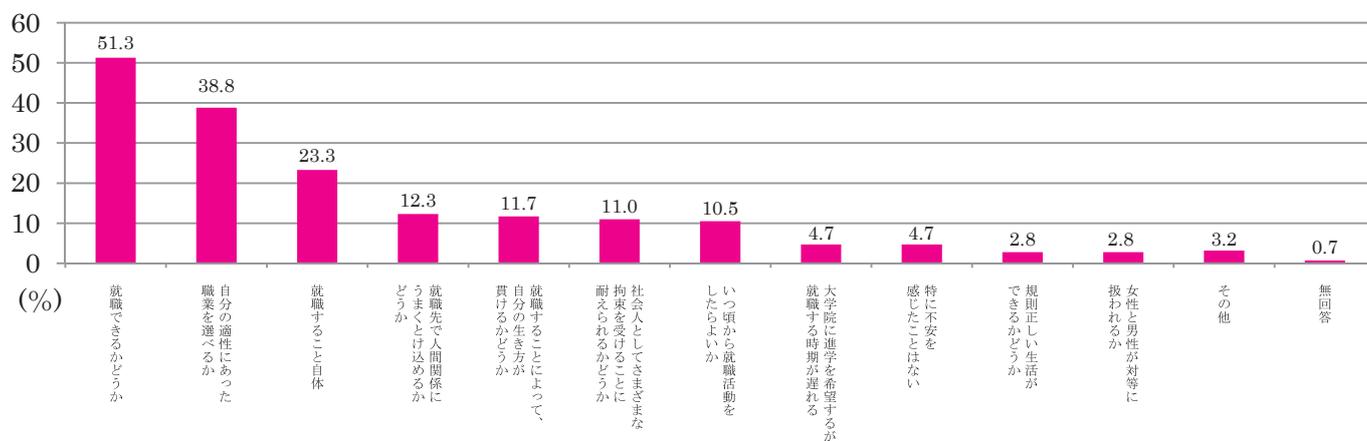


IX 進路

- ◆ 就職先希望は・・・『公務員(国家、地方)』が増加、『専門職(弁護士、税理士等)』が減少
- ◆ 大学生活でこれまでに身についたと実感できる力は・・・学部ごとに特色あり

Q58. 就職についてどのような不安を感じたことがあるか。(2つまで選択)

本学全体では、「就職できるかどうか」(51.3%)と「自分の適性にあった職業を選べるか」(38.8%)が高い割合となった。「就職できるかどうか」は3年次に最も高い割合(54.5%)となり、「自分にあった職業を選べるか」は、2年次に最も高い割合(49.6%)となった。なお、前回調査(62.8%)と比較して、「就職できるかどうか」の割合は、大きく低下した。



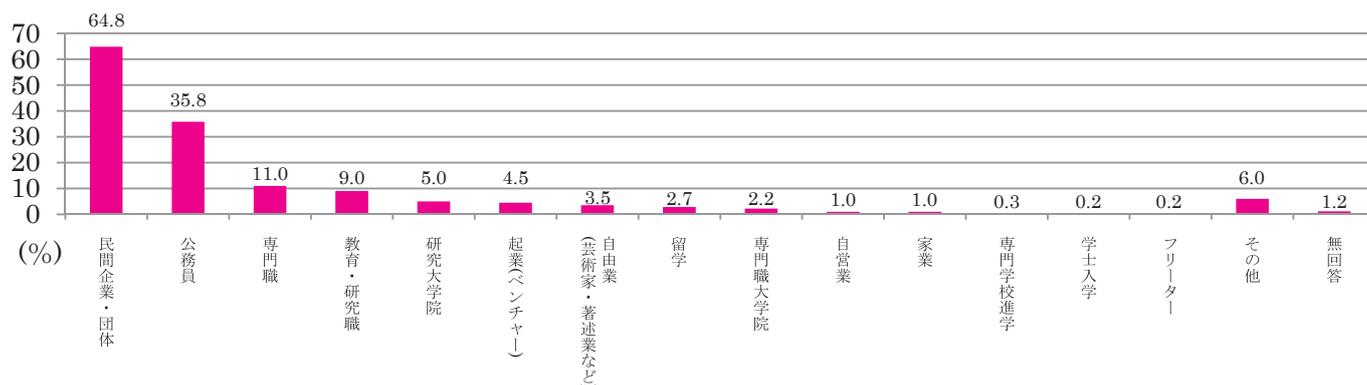
Q59. どのような進路を選択したいと考えているか。(2つまで選択)

今回、前回、前々回調査において、「民間企業」、「公務員(国家、地方)」(以下、「公務員」)、「専門職(医師・弁護士・税理士・設計士・宗教家など)」(以下、「専門職」)の順に変更はない。

3つの進路を比較すると、以下の通り、「公務員」希望が増え、「専門職」希望が減少傾向にある。

民間企業	64.4%	→68.2%	→64.8%
公務員	27.4%	→29.9%	→35.8%
専門職	20.1%	→15.7%	→11.0%

学部別にみると、法学部では「公務員」(55.0%)と「専門職」(20.1%)の割合が、理工学部では「研究大学院」(17.2%)と「教育・研究職」(14.0%)の割合が、文学部では「教育・研究職」(18.8%)の割合が高い。

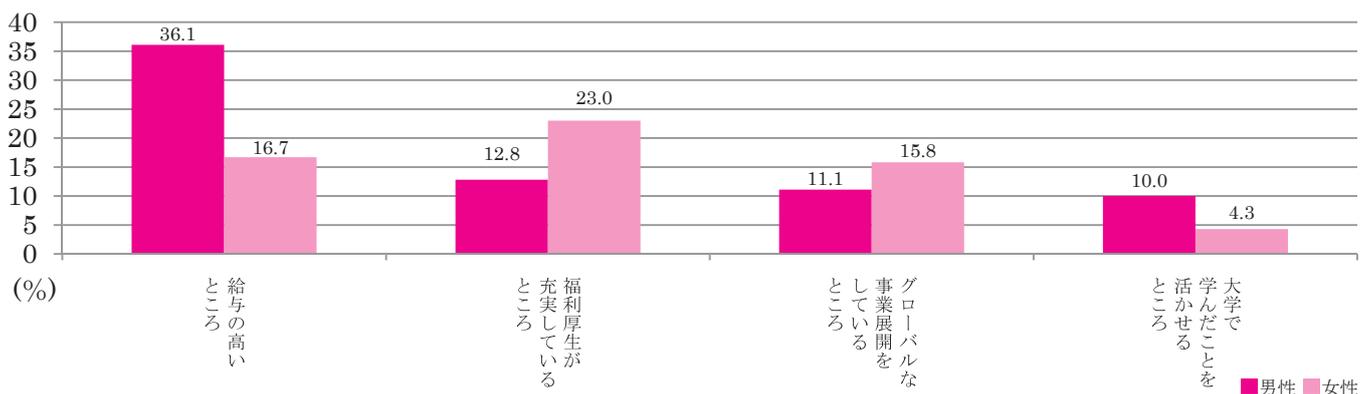
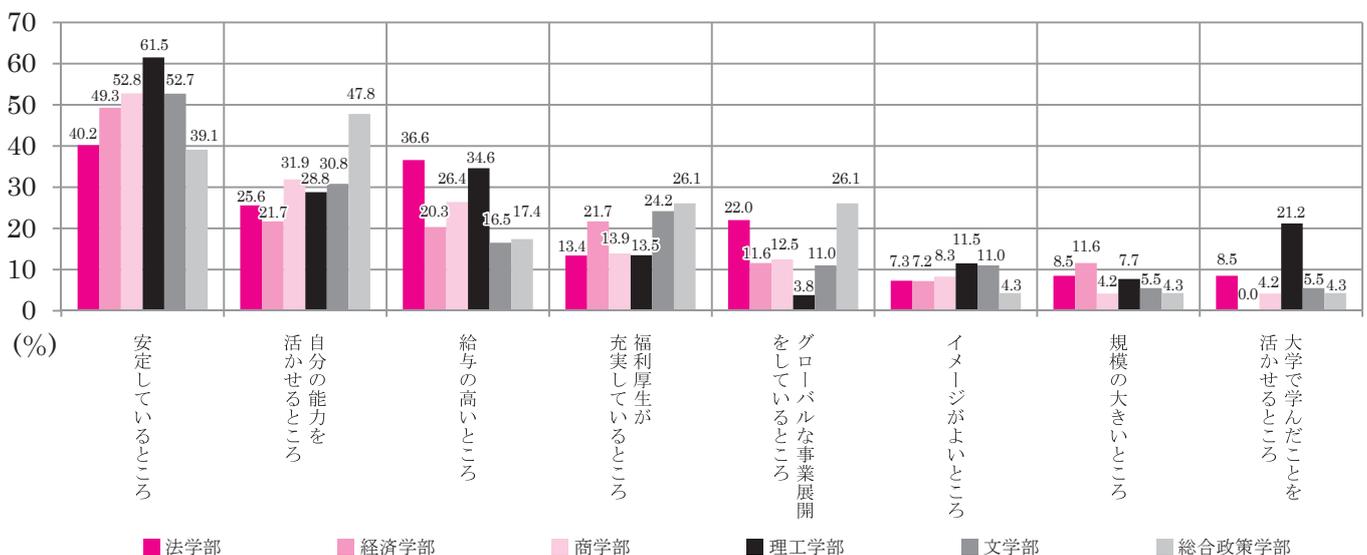
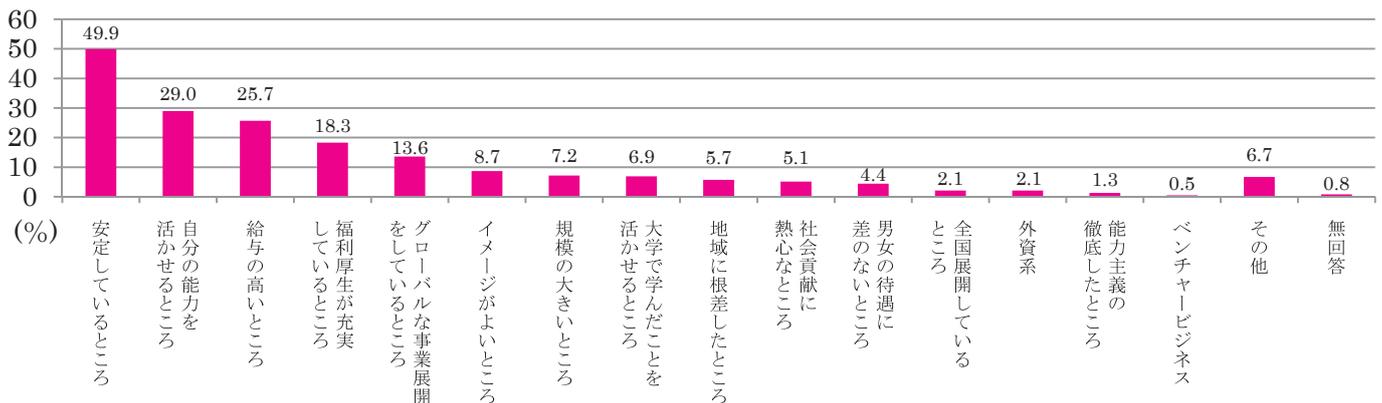


Q60. どのような民間企業・団体に就職したいか。(2つまで選択)

本学全体では、①「安定しているところ」(49.9%)、②「自分の能力を活かせるところ」(29.0%)、③「給与の高いところ」(25.7%)の順となったが、4年次では、「給与の高いところ」(19.8%)を抜いて、「福利厚生が充実しているところ」(25.5%)が3番目となった。

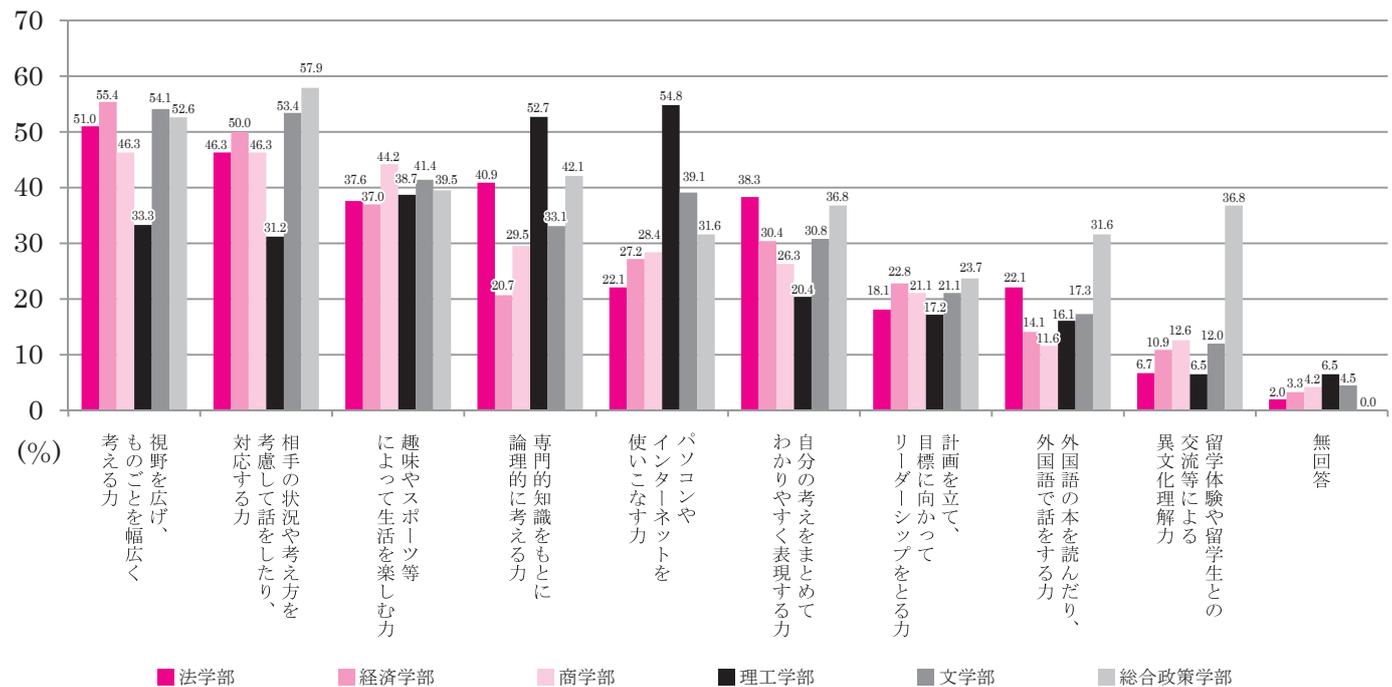
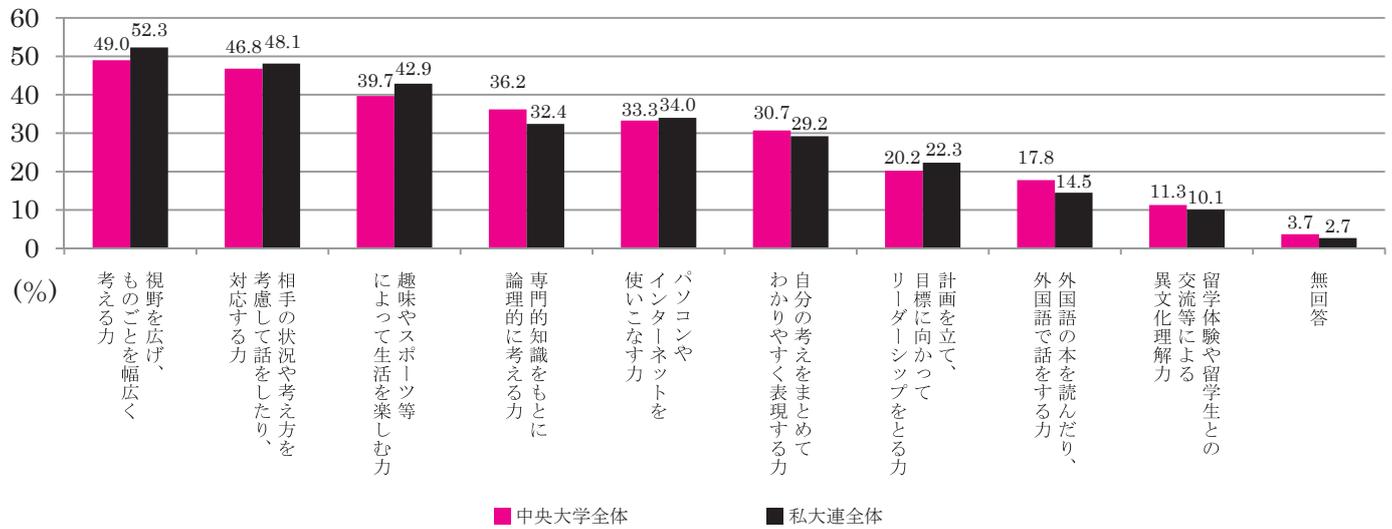
学部別の特徴としては、理工学部では「安定しているところ」の割合が6割を超え(61.5%)、「大学で学んだことを活かせるところ」の割合(21.2%)が高い。総合政策学部では、「自分の能力を活かせるところ」が5割近い割合(47.8%)となっている。

男女別では、4項目において大きな開きがあった。



Q6 1. 大学生活でこれまでに身についたと実感できる力はどのような力か。
(あてはまる力すべて選択)

本学全体では、「視野を広げ、ものごとを幅広く考える力」(49.0%)と「相手の状況や考え方を考慮して話をしたり、対応する力」(46.8%)の割合が高い結果となった。



Q62. 今後、大学生活で身につけたい力はどのような力か。

(あてはまる力すべて選択)

本学全体では、「自分の考えをまとめてわかりやすく表現する力」(52.2%)と「外国語の本を読んだり、外国語で話をする力」(47.0%)の割合が高い結果となった。

